暑い8月の
タネまき、定植は
乾燥に
気をつけてね

8〜9月の暖かさを生かす

スピード秋どりコース

早めにスタートすれば、実のなる野菜もいろいろ収穫できるぞ。
ここでは秋の害虫に弱いアブラナ科以外のそだてやすい野菜を紹介。

プランター栽培の達人、安藤康夫さんのわき芽挿しトマト。ボルケーゼという品種は12月まで収穫できた(写真・安藤康夫)

タダで苗をつくっちゃおう

トマトのわき芽挿し

挿し芽植えつけ：9月上〜下旬

春からそだててきたトマトやミニトマト。真夏は暑すぎて元気がないけど、秋になるとまた花が咲きだして実がつく。片付けるのがもったいないな〜という人におすすめなのが、わき芽挿し栽培。

やり方は、葉の付け根から元気よく出ているわき芽を切り取って、土に挿すだけ。超かんたんに、しかもタダで新しい苗がつくれちゃう！　これで秋もトマトの栽培が続けられるから、古い株を片付けるのもさびしくない。

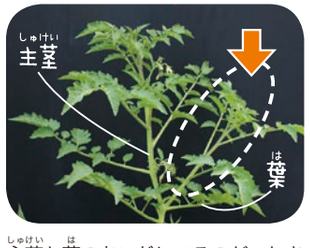
9〜10月は涼しい気候を好むトマトにとって過ごしやすい季節。ある程度寒さにも耐えるから、うまくいけば霜がおりる直前の11月下旬まで実を収穫できるぞ。

※暑さの厳しい時期に挿し芽すると、暑さで葉の蒸散が激しく根が出る前に乾燥で枯れやすい。小さめのわき芽をつかい、挿し芽直後の数日は半日陰の涼しいところに置く。切ったわき芽を水につけて少し根が出てから土に植えてもいい

これがわき芽

そだてかた

切ったわき芽の下の葉を1枚とり、茎をできるだけ長く土に埋め、土が乾かないよう水やりする



主茎と葉のあいだにでるのが、わき芽(えき芽)。挿し芽にするときは、わき芽の葉が3〜4枚でたとき(15〜20㎝)に切りとる

真冬に新タマネギがとれる

タマネギのセット球栽培

苗植えつけ：8月末

11月末〜12月上旬に収穫できる。冬の新タマネギは葉っぱも甘くてやわらかくておいしい！　すき焼きや味噌汁にぴったり

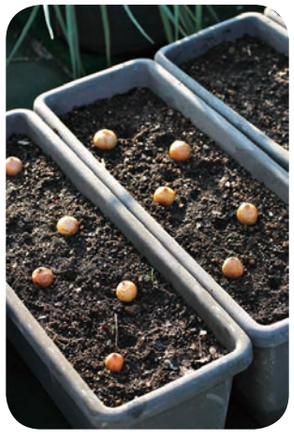
生で食べても辛くなくて、焼くとトロ〜っと甘い新タマネギ。お店で売っているのはふつう春だけ。でもじつは、じぶんでそだてれば、真冬も新タマネギが食べられる！

タマネギはタネからそだてると、9月から翌年の5月まで、栽培に8ヵ月もかかってしまう。でも、8月に小さなタマネギ(セット球)を植えれば、植えてすぐにグングン成長して、たった3ヵ月で大きな球になる。初めての人にもおすすめのお手軽栽培だ。

そだてかた

これがセット球。直径2.5〜3㎝のものがそだてやすい。「ホーム玉ねぎ」、「オニオンセット」などの商品名でホームセンターや種苗店で7〜8月に販売される

※植えつける時期はこれより早くても遅くても冬に大きくなりにくいので注意



土に堆肥や元肥を混ぜておき、8月末〜9月上旬(※)、セット球のお尻を下にして、10㎝間隔で土に少し埋める。芽が5㎝くらいに伸びたら、球が隠れるくらい土をかぶせる

10月上旬〜11月上旬に、軽く1回追肥をやる。短い期間でぐっと成長させるために、追肥は必ずやろう

栽培指導・写真　安藤康夫